

湾岸地域への高規格道路計画

田中議員 湾岸地域における規格の高い新たな道路ネットワークの検討状況はどうか

ンシャルを十分に發揮する上で重要であると考えております。

おける交通容量の不足、また、湾岸地域の開発による将来の交通需要増加などの交通課題を確認したところであり、今後、規格の高い道路計画の基本方針を確認することとしております。

検討会幹事会で 基本方針確認へ

田中議員 千葉県
の活性化に向けて
渋滞の緩和、千葉港の機能
強化など、東京と千葉を結
ぶ動線がもう1本必要だと
思う。

要望

いただきたい。

**堤防かさ上げ工事
続いて旧橋撤去や**

田中議員 県道市川浦宿線の行徳橋は、江戸川にとり分断されている市川市稲毛荷木と河原との地域の交流や発展に寄与するものでもあり、地域のまちづくりを進めることで大変重要な橋梁である。

3月10日オープン
架け替えられた新しい
行徳橋は3月10日朝5
時に無事開通しました。
車道が拡幅され、自転
車歩行者道は4メートル
ルに広がりました。

老朽化著しい旧江戸川護岸 地域の安全へ早期改修を



接合部が大きく食い違ってしまっている旧江戸川の護岸

としており、
背後に広尾防
災公園のある
広尾地区や
常夜灯公園の
ある本行徳地
区で、公園の
整備に合わせ、
すでに0・7
キロメートル
の整備が完了
しています。
昨年度着
手した市川
市の島尻地区
では、一部区

補修を行うなど施設の維持に努めてまいります。
田中議員 未整備区間の護岸状況を現場調査した。護岸のつなぎは隙間が空いていたり、左右にずれている状況。歩道には亀裂が入っていたり、陥没箇所もある。

田中議員 行徳湿地に生息するカワウについて、昌はどのように管理していくのか。

環境生活部長 鳥獣保護区である行徳湿地のカワウについては、継続的に生息状況等の調査を行いながら、生息エリアのコントロールを実施するとともに悪臭等による周辺環境への影響についても、定期的に確認を行っているところです。

昨年12月の調査では、カワウの生息数が480羽と

行徳橋架け替え



架け替えられた行徳橋

今後どのような工事が行われていくのか。

田中議員 旧江戸川護岸は整備から40年以上経ち、老朽化が著しく、舗装のひび割れや陥没も発生している。地域の安全確保には旧江戸川全区間の護岸整備が必要不可欠であり、早期修繕を要望する。

そこでうかがうが、旧戸川の護岸整備の進捗状況はどうか。また、護岸が改修されるまでの間、維持管

理をどのようにしていくのか。
県土整備部長 旧江戸川
については、河口から9・3キロメートル区間で、耐震対策や高潮対策として、親水性にも配慮した護岸整備を実施しており、3キロメートルの整備が完了しております。
市川市内の5キロメートル区間では、テラス護岸としており、背後に広尾防

間において、護岸基礎部が完成していることから、今年度は、上部のテラス護岸0・1キロメートルの工事に着手しております。引き続き、地元の協力を得ながら、早期完成に努めてまいります。

住民悩ます カワウの悪臭



の生息エリアや生息数、周辺環境への影響等を注視しながら、適正な管理に努めてまいります。